

氏名： 荒木 美奈子 (ARAKI Minako)  
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系  
学位： Ph.D. (開発研究)  
職名： 准教授  
専門分野： 開発研究、アフリカ地域研究  
E-mail： araki.minako@ocha.ac.jp

#### ◆研究キーワード / Keywords

開発／アフリカ、タンザニア／住民組織  
development / Africa, Tanzania / people's organization, groups

#### ◆主要業績

- ・荒木美奈子「アフリカを通して「国際協力」に関わる－実践と研究をつなぐ視点」, 加納弘勝編『次世代への国際協力レポート－現地と世界をつなぐ私たちの仕事』津田塾大学オープン・リサーチ・センター、pp.38-46.2008年3月

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

1. 「開発」プロジェクトと住民とのインターアクションに注目し、研究を行っている。JICA 専門家として携わったタンザニア・ソコイネ農業大学地域開発センター (SCSRD) プロジェクトの対象地であったタンザニア南西部ムビンガ県において、2007年8月に引き続きフィールド調査を行った。従来の評価方法では、グループの数や活動が継続しているか否かという点で評価される傾向にあるが、「持続性」や「エンパワーメント」を考えるにあたり、蓄積された力がどのような形で発現されるかという点に焦点をあて、プロセスの記述を行っている。
2. 「国際協力」に関する研究や実践活動の経験を次世代や一般の人びとに伝えていくために、シンポジウムや報告会での講演を行った。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

1. 学部：「国際協力学」では、国際協力の基本的な概念・仕組みを概説した。「地域開発論Ⅰ」では、主にタンザニアの事例を考察し、多様な地域での地域固有の発展や協力のあり方を講義した。「国際協力方法論Ⅰ」では、身近なテーマをもとに批判的に「開発」や国際協力を学んだ。「グロ文総論1」では、グローバル化する社会における国際協力の課題と可能性について3コマ講義した。「国際開発論」では、国際協力機構(JICA)の職員や専門家を講師としてお招きし、様々な課題や具体的事例について講義をしてもらった。実習科目としては、2007年3月のタイ実習参加者に対して「国際協力特論」を開講した。次の実習参加者に対して「国際協力実習1」(事前勉強・準備)を行い、2008年3月に「国際協力実習2」(タイ実習)を実施した。
2. 大学院：「開発実践研究論」では、The Women, Gender and Development Reader, Zed Books, 1997をテキストとし、輪読、討論を行った。「開発実践研究演習」では、2008年3月のA I Tワークショップの事前準備・勉強を行った。

## ◆研究計画

1999年よりタンザニアにて、JICAプロジェクトと科研を通して開発実践と研究に携わってきた。これまでの経験を総括しつつ、政策や実践へのフィードバックも行っていきたいと考えている。

## ◆メッセージ

「開発」実践と研究の双方からアフリカ(特にザンビア、タンザニア)に関わってきました。実践と研究をつなぐ視点やアフリカのポジティブな側面とネガティブな側面の双方を、伝えていきたいと考えています。スライドやビデオを使用したり、第一線で活躍するゲスト講師をお呼びすることにより、国際協力・開発の現場をより身近なものと感じ、かつ批判的な視点を持ちながら学んでほしいと願っています。さらに、私たちの日々の生活がいかに他の地域につながっているかを、「食」「水」「バイオ燃料」など身近なものから考えながら、グローバル化する社会のなかで市民による国際協力がどのような形でありえるのかをともに考えていきたいと思えます。